



# 地域の 魅力に



# 想いは



## ひまわりと地域の笑顔

ひまわり園では、いかに楽しい場所にできるか、毎年各団体が集まって考える会議がある。「ゆめ・豊野塾！」の桑島さんは、これが定着すれば今後、地域全体の活性化を、それぞれの立場で語る場になるかもしれないと話す。そしてこう続けた。「ヒマワリがあることで地域の人材が活性化してきた、それが一番良かこと。」

過疎地域である豊野。毎年人口は減少を続け、子どもたちも流出傾向だ。

地元出身で豊野小・中の遠山光昭校長は、活動を通して「子どもと地域の皆さんが一緒に取り組むことで得る学びや地域活性化への効果は計り知れない。」と互いに響き合う姿を実感。

実行委員の里永さん、伊藤さん、鋼鉄さんは取り組みを地域に根付かせ、豊野をひまわりの町にしたいと展望する。さらに、そんな大きな活動に子どもたちが関わって心に残り、誇りとなり、将来手伝ってみたいと思っ

てくれたらと願いを込める。

地域が元気になってほしいと始まったプロジェクトは、期間中、市内外から約1万人が集まるまちなの大イベントとなった。

この数は豊野の人口の2.5倍以上。県外からひまわり園だけのために訪れる人もいる。一部の人の想いはまち全体に広がり、地域の魅力の一つとして、地域はもちろん、さまざまな人を元気に行っている。

ひまわりの花と花を飛んで蜜を運んでいくミツバチのように、ひまわり園プロジェクトは地域に笑顔を運んでいく。

活動を紹介  
しています



うきうき豊野ひまわり園  
Facebook



特集 地域に笑顔を運ぶ -完-